

令和4年12月23日

第144号

# 八代高校・八代中学校PTA会報

<https://yatsushirohighschool.com/>



▲ホームページ QRコード

特集

鳳雛祭 体育の部・文化の部

● PTA活動報告



## 令和4年度 生徒自治会 常笑そして上昇





# 特集 鳳雛祭 ~体育の部~









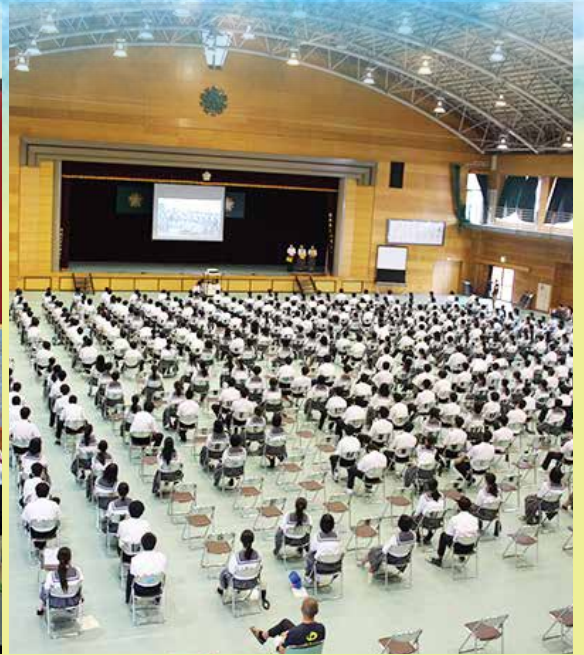








特集 **鳳雛祭** ~文化の部~

















令和4年度 熊本県公立高等学校城南地区 P T A 指導者研究大会

P T A 顧問 今田 史昭  
10月15日(土)人吉高校にて開催され、木下教頭先生、吉岡先生、淵川副会長、そして顧問の今田で参加してきました。

人吉高校の生徒が始めた You Tube チャンネル「ぎゃんとこ人吉Ch」で、人吉高校はもろろん、人吉の魅力発信していることを紹介されました。

開会では、県高P連側から「若い世代の心の成長を大切にしていけたら：」、「高校生の力強さ、団結力をもっと引き出せるように、P T A が態度で、背中を示していきましょう。」と私たちに「県としての考え」を伝えていただきました。研究発表では、芦北高校から、P T A として無理をしない活動をするために、「生徒サポート部」を新設し、生徒1人1人の特色を伸ばすためのサポートを心掛ける活動にしているとのこと。



2校目は、水俣高校で、「目指す自分にきつと近づける。ミナマタで学ぼう。」、「水高生の元気はまちの元気につながる。」。と。どちらも「地域とともにある学校づくり」ができていました。

最後に、明導寺住職の藤岡教頭様に「今を生かされて生きる」という演題で、ご講演いただきました。愚痴ばかり言ってもストレスがたまるだけ、愚痴よりも「感謝の言葉」を自ら発し続けることが、相手も幸せで、自分にもその幸せが返ってくる。まずは、自分の行動や言動を見直してみてください。とのことでした。

これらの発表と講演から学べたことは、本校も「できることをできたし」、生徒が活躍できるようにサポートしていくようなP T A 活動を行うっていく必要があるのではないかと感じました。地域とも協力しながら生徒が輝けるようにサポートしていきます。

八代高校 P T A 1 学年 学年行事企画

研修「高校生のための消費生活講座」と懇親会の実施報告

学年長 鈴木・築地

令和4年11月21日(月)に、熊本市消費者生活センターより講師の金澤裕子様を迎えての講習会が開催されました。成年年齢が引き下げられたことに伴い、若者の契約責任が発生すること、社会経験や知識が少ない若者を狙った悪質商法と、そのトラブル回避法について講義され、子供達を守るよう保護者の意識を深められる講義となりました。高校一年生には少し早い議題かと思われる議題でしたが、ネット社会に潜む手口や契約について学び、子供だけではなく親もしっかり認識すべき事項で、気が引き締まるような時間が過ごせました。

平日の実施であり参加者は少なかつたですが、講師の先生も参加されての懇親会も実施し、レクリエーション等も行いながら保護者間での親睦を深めました。お忙しい中参加してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



令和4年度 くまもと中高一貫校 P T A 実践交流会が開催されました

P T A 会長 富晃之介

去る令和4年12月3日(土)午後3時より、八代高校・八代中学校会議室において、「令和4年度くまもと中高一貫校 P T A 実践交流会」が開催されました。

くまもと中高一貫校 P T A 実践交流会は、熊本県下の県立中高一貫校である、玉名高校・附属中学校、宇土高校・宇土中学校、八代高校・八代中学校の P T A 役員が P T A の状況などについて協議を行う機会です。三校ともほぼ同時に中高一貫校化された歴史をもちますので、同様の課題があったり、その課題解決の方策にヒントを得たりと大変実のある交流会として継続しています。昨年は玉名高校・附属中学校さんがホスト校でしたが、本年度は本校がホスト校として準備をすることにいたしました。新型コロナウイルスの関係で開催自体検討しなければならぬ状況ではありましたが、年に二度の貴重な場でもありますので、感染対策を講じて開催する運びとなりました。玉名からは9名、宇土からは7名の P T A 役員さんが参加されました。本校からは、岩本校長先生、草原副校長先生、福田副校長先生、吉岡先生の職員4名に加え、P T A 役員から10名が参加し、皆様をお出迎えしました。

まずは岩本校長先生から学校全体を代表しのご挨拶を頂き、続いて福田副校長先生、草原副校長先生から中学、高校のそれ



ぞれの説明を頂きました。ホスト校の管理職の先生方にご参加いただくのは今回初めての試みでしたが、参加された皆さんからは大変分かりやすく、その後の協議の助けになったと喜ばれました。それに引き続いて、各校 P T A 活動の紹介を行い、その後①コロナ禍における P T A 活動②ジェンダーレスと学校③県教育委員会への要望事項④中高一貫校らしさについてなど、多岐にわたる議論が活発に行われました。

午後5時までの会議でしたが、時間が足りないと感じるほど充実した交流会となりました。会議の後は本町に移動して、懇親会を開催しました。こちらも開催が危ぶまれましたが、年に二度の貴重な会ですので、対策を講じながら実施しました。懇親会においても活発な議論が続き、3校の P T A がより強固に結束する場となりました。

来年度のホスト校は宇土高校・宇土中学校になります。来年もまた充実した会にしましょうと約束をしてお開きとなりました。先生方はじめ、会の準備から実施までご協力を頂いた皆様、ありがとうございました。